

あかぼこ山



Vol. 120
2026 年
9 月 15 日発行

発行元
特別養護老人ホーム カントリービラ青梅
(住所) 青梅市長淵 1 丁目 930 番地 3
(電話) 0428(23)6233 <<9:00~17:00>>
(Fax) 0428(24)7047
(URL) <https://country-villa.com/>



ごあいさつ

日中はまだ暑い日が多いですが夜はコオロギの鳴き声が聞こえてくるようになり、少しずつ秋に近づいていることを実感している今日この頃です。世間は既にハロウィングッズが店頭に並んでおり、私は気持ちが追い付いていません。(きっとこんな感じでクリスマスや正月が訪れあっという間に1年が経過するのだろうな…。)施設のお客様には怒涛のイベントごとが待っていると考えるとにぎやかにも感じます。季節の変わり目で体調変化も予想されるので皆様のご様子を日々観察し安定した生活を送れるよう支援させていただきます。また、世間ではインフルエンザが流行し始めておりますので手洗い、うがい、マスクの着用で感染を防いでいきましょう。

イベント

8/28(金)施設の玄関付近で夏の交流会を行いました！

2018 年から夏の交流会を実施していなかった為、初めて経験する職員が大半で手探り状態の中なんとか開催までたどり着きました。改善点はいくつかありますが一先ずは開催できてよかったと思っております。来場いただいた地域の方にも的屋や屋台を楽しんでいただけたようで安心しておりますが、来年はより多くの方に来ていただけるよう試行錯誤していきます。

ご来場いただきありがとうございました！また来年も足を運んでいただけると励みになりますのでよろしくお願いします！



屋台では、アメリカンドッグ、ミニお好み焼き(2種)、フライドポテト(5種)、焼きそば(2種)、チューパップ、飲料が提供されました。無料の物と 50 円の物しかないのでお腹いっぱいお祭りメニューを楽しめたかと思えます。賑やかな雰囲気を施設のお客様も一緒に楽しめました。的屋ではスーパーボールすくい、輪投げ、千本引きが催され賑わいを見せていました。

クラブ・レク

8/6 リハビリの部屋に行くと皆さんで麻雀を行っていました。

頭と手先を使い、楽しみながら機能訓練をしています。

以前あかぼこ山の施設長のメッセージ欄で麻雀のお話をされていましたが、ルールが全く分からない私から見ても麻雀を打っている皆様の姿は普段見ることが出来ない雰囲気があります。真剣な表情と何か含んでいるような表情が入り混じっていますね。ルールが分かるようになれば外から見ても楽しめるんだろうなと思いますが、今から複雑なルールを覚えることに抵抗もあり、なかなか重い腰が上がりません。今からでも脳トレをしていかなければいけないと思っています。



8/24 にはオセロで戦っているお客様もいました。



熱戦です。黒が優勢かなとも思いますが、ここから白が巻き返すこともできますね。どちらが勝ったのかは見ていなかったのが悔やまれます。写真から見切れてしまっていますが観客もいらっしゃいます。観客からはアドバイスが頂けるようです。

8/16 に3階に行くと夏らしい食べ物を作って召し上がるレクリエーションを行っていました。



流るそうめんを上手に箸でつかんでカップに入れています。流しそうめん器で食べるそうめんは普通に食べるそうめんよりも涼やかな気持ちになります。大規模なそうめん流しが出来なくてもお手軽に出来て満足度が高まるところが利点ですね！



ご自身で焼きそばを焼いて食べているお客様やスタッフが作成したチョコバナナを召し上がっているお客様もいらっしゃいました。夏の屋台メニューを施設内で楽しんでいただけてお客様にもご好評いただきました。



【お知らせ】



- 9/19(土)の13:30~15:30に敬老会を開催します。2階食堂で飲み物とデザート類を準備しておりますので、召し上がりながらお客様とご家族様との時間を過ごして頂ければと思います。また、14時から青梅太鼓さんを招いて20~45分の演奏をして頂く予定です。太鼓の響く音を肌で感じられる機会となりますので是非ご覧にいらしてください。開催にあたりましては、窓や扉を閉めるなど音量には十分配慮いたしますが、当日は近隣の皆様のもとへ演奏音が響く可能性がございます。近隣の皆様にはご迷惑をおかけし大変恐縮ですが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【施設長のどうでもいい話】

先日千葉に草刈りに行ってきました。(亡)母方の叔父夫婦が千葉県勝浦市のはずれに老夫婦世帯で暮らしていたのですが、叔母が脳梗塞を発症し緊急入院したとの知らせで2年ぶりにお邪魔しました。もともと要介護3の叔母を要支援の叔父がなんとか支えていた生活でしたので、今回の入院のあれこれで「この先の事を考えると…氣力がなくなっちゃった。」と嘆く叔父の言う通り庭も雑草に埋め尽くされているような状態でした。叔父の家(母の実家)は私達兄弟姉妹にとって乳幼児の頃から頃から大変お世話になってきた懐かしい第2の実家みたいなものでしたので、叔母の病状はもとよりこれからの暮らしをどうするのかがとても気がかりでした。もうしばらくしたら療養型病院へ転院予定の管だらけの叔母の面会を済ませ、購入した簡単な食材を叔父に預けて帰宅。そして翌週末に再び叔父宅に出向きました。今回は草刈り機を持参です。目標は道路から玄関まで、玄関周辺の生活導線を確保すること。1時間半ほど汗だくになりながらの作業で(電動草刈り機のバッテリーも切れてしまい)最低限の目標は達成できたためひとまず終了となりました。日頃「特養ホームの施設長でござい」と知った顔をしていますが、片道車で3時間の距離もあり、悲しいかないざとなると大したことはできません。名刺の裏に携帯番号を書いて「困ったことがあったら遠慮せず電話して。」と託してきたのが今のところ精一杯でした。

帰り道で偶然立ち寄った「魚屋食堂」さん。人気のお店らしく店内は2階まで満席。同行した奥さんと作業のご褒美に「漁師の海鮮丼」と「タンタン海鮮丼」を頂きました。美味しかったですよ。

